

利權契約締結期限延長ノ件

MT

171037

428

1-1967

0298

??

電信課長

大臣

次官

官

亞細亞

歐米

通商

條約

情報

人事

會計

文書

對支文化

件名 綴込名 日露交渉細則草案

9674 晴野 莫斯科 九月十日 十月二日 田中大使

幣原外務大臣

田中大使

九月十日 十月二日

大正四年拾月拾日 記録係接受

日露交渉

交

利権契約締結期限ハ歸ス知事ケ月ニ過ガズ、然ルニ重要問題中京決ノモノ多キニ付期限短長ノ必要アルヤニ測ラシク、依テ爾ニケケリン、及最近「カラハン」ニ面會ノ節、之ニ言及セルに、先方ニ於テモ、已リ得テハ認メタリ、但、返答、禮式ハ利権交渉ノ進行後ヲ見テ、返答

協議スルコト、打合セ置キタリ、就テハ右交渉ハ鋭意進捗セリ、ハナチ、已リ得カハ場合、延モルルコト、防派認置トアリ、度尚定稿ハ文案ニ同シ心得置クハ、且至急電訓アリタシ、延テ期限ハ一月以内ノ範圍ニテ、方々ノ便宜決定設スルハシ。

MT 171037 430

MT 171037 429

1-1967

0299

23

電送第 65-10 / 號
大正 14 年 10 月 3 日 時 15 分 發

大正
次方

完全ニ達シテハ特ニ公文交換ノ必要ナキヤニ思考セラルル
 如先方ニテ望ム場合ニハ貴省ハ聯邦外務當局トシテ
 「北京条約肉保決定書」乙及交換文書ニ記載セル利権契
 約締結期ヲ延長スル旨ノ公文交換
 方取付心志シ

MT 171037 432

電信課長
 暗號 發電大正 14 年 10 月 3 日 午後 時 15 分 透電番號
 主 任 第一課 起草大正十四年十月三日
 受信 在莫斯科
 人名 田中大使
 發信 幣原大臣
 件名 (利権契約期限延長方ニ関シ)
 第 三 號
 貴電第四三號ニ関シ
 利権契約ハ一期限内ニ成之ヲ希望スルニ望ム止ムヲ得ル
 場合ニ双方ノニ萬事現在ノ状態ヲ其終持統スルヲ解
 外務省

MT 171037 431

1-1967

0300

友

9074 晴 莫新科卷 大百十四号 九月廿日 十月二日

幣原外務大臣宛

昭和二十一年十一月十日

田中大臣宛

小幡利推契約締結期限ハ備不短幸ケ月ニ過キ
然レハ重要問題中前決ノモノ多キニ付期限延
長ノ必要アリ中ニ測ラレズ、依テ備、コケ左
リニ及最近「カラハン」ニ面會ノ節ニ
言及セル如先方ニ放テモ己ノ得ヲ認メ居リ
但運送ノ形式ハ利権運送ノ進行状ヲ見テ追テ

協議スルコト、打合ヒ置キタリ、就テハ右交
渉、鋭意進捗セシメハキモ己ノ得カハ場合延
長スルコト、特承認置キアリ度尚定稿ハ文案
ニ関シ心得置ケハキ莫至急モ訓アリテ、延テ
期限「」ヶ月以内ノ範圍ニテ者方ハ、便宜決
定スルコトナリ

MT 171037

434

MT 171037

433

1-1967

030:

サル別紙字ヲ各一括リ其係係附ノリ																			

MT

171037

436

外務省

(乙) 號用紙 (國納)

公 信 案

公 信 案	(別紙) 田中大使來電才四(三) 號(海) 字ヲ甲部トシ 同大使往電才三(八) 號(海) 字ヲ乙部トス	本件ニ因シ今般在莫斯科田中大使ヲ別紙甲部字ノ通電報アリタルニ付別紙乙部字ノ通電報成リタルニ付右通電報ス	件名 北樺太利権契約期限延長期方 ニ関スル件	主 管 機 密 第 五 二 八 號 大 正 十 四 年 十 月 六 日 附 屬 書 通					發 信 人 名 廣 岡 政 未 長	發 信 人 名 廣 岡 政 未 長	附 屬 書 通	
				受 信 人 名 海 軍 省 池 田 軍 需 局 長								
				文 書 課 發 送 大 正 十 四 年 拾 月 六 日 發 送 済								
外 務 省				主 任 歐米局長 (起草 大正十四年十月六日) 機 密 第 五 二 八 號 大 正 十 四 年 十 月 六 日 附 屬 書 通								

MT

171037

435

外務省

文書課長

大正十四年拾月六日 發送済

(甲) 號用紙

4

1-1967

0302

甲第



莫斯科發大正十四年九月三十日
幣原外務大臣宛田中大使發電報

北樺太利權契約ノ締結。期限ハ餘ス處半ケ月ニ過ギサル處重要問題
中未決ノモノ多キニヨリ期限延長ノ必要アルヤモ測ラレズ、依テ獨
ニ「チチエリン」及最近「カラハン」ニ面會ノ節之ニ言及セル處先
方ニ於テモ已ヲ得ズト認メ居リ但延長ノ形式ハ利權交渉ノ進行振テ
見テ追テ協議スルコトニ打合セ置ケリ、就テハ右交渉ハ銳意進捗セ
シムベキモ已ヲ得ザル場合延長スルコトニ御承認置キアリ度尙交換
公文案ニ關シ心得置クベキ點至急電訓願ヒタシ、延長期限ハ當方ニ
テ一ケ月以内ノ範圍ニテ便宜決定スルコトトスヘシ

(已號用紙)

外務省

MT

171037

437

1-1967

0303

親 寫

乙 野

大正十四年十月三日發

(已 號 用 紙)

幣原大臣發在莫斯科田中大使宛電報
三万八千餘字
利權契約期間延長方ニ關スル貴電ニ關シ

利權契約ハ期限内ニ成立ヲ希望スルモ萬々止ムヲ得サル場合ニ立到
ラハ双方ノ間ニ萬事現在ノ狀態ヲ其儘持續スル了解ノ下ニ期間ヲ延
長スルノ外ナク右ニ就キ完全ニ話合付クニ於テハ特ニ公文交換ノ必
要ナキヤニモ思考セラルル處先キニテ望ム場合ニハ貴官ハ聯邦外務
當局トノ間ニ「北京條約關係議定書乙及交換文書ニ記載セル利權契
約締結期間五ヶ月ヲ
ノ間延長スル」旨ノ公文交換方取計ハ
ルル豫致シ度シ

外 務 省

MT 171037

438

1-1967

0304

友

崎ノ草野科費

大正四年十月十九日

政一

勅諭外務大臣

名義

田中大使



十月十九日

細川からいふ云々... 延期長ノ敏等ノ辭... 再延長ノ敏等ノ辭... 力為メ交渉ノ進行ノ影響... 卜述ノリ後ノ自外限リ...

MT

171037

441

一月若クハハ利権... 甲申ノ一可ナリト... 往ル必スアリト述... 構ナリ... 更ニ打合セス...

MT

171037

442

1-1967

0306

25

電送第六六八九號
大正十四年十月二十七日七時五分發

大正
次方
務

電信課長

主 管 歐米局長

主 任 第一課

(起草大正十四年十月十日)

(原議用紙甲) 圓納

件名 利権交渉期間延長ニ要スル件

名込綴

宛 左 莫 野 科

田 中 大 使

發 幣 原 大 臣

時 刻

第三二三號

首電第四二七號ニ関シ

單ニ文句ノ上ヨリスレハ利権契約締結ニ至ル迄ト

アル以上三ヶ月ト為シ置クモ差支ナキカ如キモ如

約長胡ニ涉ル延胡ヲ豫定シ置クコト好シカ

電 信 案

外 務 省

(原議用紙乙) 圓納

ラサルノミナラス又或ハ先方ニテ本件ヲ引キ摺リ他ノ
 向題ニ利用シ得ルニ付右期間ハ成ル
 ヘク短クシ置クヲ得策ト認 貴官ハ
 先方ニ第シ利権交渉ノ長引クコトハ双方ニトリ
 不利差ニシテ成ルヘク速ニ先中ホルトコト可也
 旨ヲ説示シ且 延長胡間一ヶ月後完了
 セサル坊合ニ 未 決 定 二 方 法 ヲ 講 不 止 途 中 有 力

電 信 案

外 務 省

MT

171037

444

MT

171037

443

1-1967

0307

電送第208号
 大正14年10月13日
 1時0分發

大正局
 糸川

電信案
 外務省
 契約締結ニ至ルマデノ文言ヲ
 附セテ之ヲ期限ヲニケ月トスル
 適當ナル一ウ此其ニ表側ノ見込リ
 冬約セウシ可此措置セウシ
 又交渉期間延長ニ對シテ我方
 拒絶院 諸紳 経ルノ要

(原議用紙乙) 圓納

MT 171037

447

電信課長
 主 管 歐米局長
 任 主 歐第一課
 年 暗 第三二四號
 宛 在 露 國 中 大 使
 發 大 臣
 名 込 綴 莫斯科
 主 歐第一課
 大正 年 月 日
 電信案
 外務省
 契約期間延長ニ関シテハ或ル一ウ
 契約締結ニ至ルマデノ文言ヲ
 付セテ之ヲ期限ヲニケ月トスル
 適當ナル一ウ此其ニ表側ノ見込リ
 冬約セウシ可此措置セウシ
 又交渉期間延長ニ對シテ我方
 拒絶院 諸紳 経ルノ要

(原議用紙甲) 圓納

MT 171037

446

1-1967

0309

324

電信案

外務省

電報ニ於テ有テ
 事場アルニ依リアドレステン
 取極ニ称致彼「付」者、
 ニ説^ニハ^シ（^ニ五^カレ^タシ）
 比集、同レ先方ト諒解ヲ送テ
 之レ度交換スルニ、追テ本國政府
 へ進出シ得ル時、相互ニ其事實
 ヲ通告スルニ其場合致カラ通及セシ
 事トモテハ、皆達カセラル、^テ致度

合（原議用紙乙）圖納

MT

171037

448

1-1967

03:0

臨

門
類
項
號

閣僚以友

大臣
次官
亞細亞
歐米
通商
條約
情報
人事
會計
文書
和平條約
對支文化

電信課長

件名
綴込名

決

100.00 暗
本 庫 在 大正十四年十月十三日午後六時五十分
田中大使

幣務大臣

田中大使

大正十四年十月十六日 記 録 係 接 受

第四三四號 (十番後)
貴電第三三四號 閣下
十月三日、カラハンシニ面談シタル、權利權契約
締結ニ至ルマテトシ、トハ關係方面ニ異議アリ
トノコトニテ、更ニ協議ノ結果、即訓電ノ趣旨
ヲ汲ミ、一月半ノ期間延長ス。コトニ申シ、
公文ニ交換次第電報ス。

MT 171037

449

<p style="text-align: center;">(乙) 號用紙</p> <p style="text-align: center;">甲 月 日 乙 号 丙 部 承 知 相 成 度</p> <p style="text-align: center;">別紙甲 十月九日付 田中兼吉 署名 其 終</p> <p style="text-align: center;">別紙乙 十月十日付 田中兼吉 署名 其 終</p> <p style="text-align: center;">別紙丙 大正十四年十月十三日 田中兼吉 署名 外務大臣宛電報</p>											
<p>MT 171037 451</p>											

急

<p style="text-align: center;">(甲) 號用紙</p> <p style="text-align: center;">大正十四年拾月拾四日 接 受</p> <p style="text-align: center;">文書課長 文書課 長 格 付</p> <p style="text-align: center;">文書課發送 大正十四年拾月拾四日發送済</p> <p style="text-align: center;">主 任 主 任 主 任 主 任</p> <p style="text-align: center;">管 主 歐米局長 任 主 任 主 任 主 任</p> <p style="text-align: center;">機 密 第五五五号</p> <p style="text-align: center;">大正十四年十月十日 附</p> <p style="text-align: center;">附 屬 書 別 紙 通</p>											
<p>受 信 人 名</p> <p>六角海軍少将</p>		<p>發 信 人 名</p> <p>田中兼吉</p>		<p>件 名</p> <p>利権多味知事延任之件</p>		<p>綴 名</p> <p>田中兼吉</p>		<p>公 信 案</p> <p>其 及 一 經 送 別 紙</p>		<p>外 務 省</p>	
<p>MT 171037 450</p>											

1-1967

03:3

暗改 莫斯科
本 幕着 大正十四年十月十日
十日後 十日後

幣原外務大臣 田中大使

第四三十四號 (十日後)

貴電 第三三十四號 二回

加本 一カウハンシニ面談シタル處 利権契約

締結ニ至ルマデトスルハ 関係方面ニ異議アリ

トノコトニテ 更ニ協議ノ結果 御訓電ノ趣旨

ヲ以テ 一月半ノ期間延長スルコトニ申

公文ニ交換次第 電報ヲヘシ

MT

171037

452

1-1967

03:14

電信課長 藤田

大臣

次官 橋

亞細亞

歐米

通商

條約

人情

大計

會計

文書

平和條約

對支文化

門類
項號

番

件名	
綴込名	

10049 晴 5 咲 斯 科 若 大 正 五 年 序 十 官 指 七 八
本 署 着 十 官 指 六 一 〇

幣 原 外 務 大 臣 田 中 大 使

大正五年 拾月廿四日 記 録 係 接 受

第四三八號
 貴 局 第 三 二 三 號 之 函
 本 件 取 扱 ノ 形 式 々 貴 局 第 三 一 八 號
 以 及 前 記 之 基 中 十 三 日 加 入 シ ト 合 見 之 際
 之 別 寄 付 四 三 九 号 通 下 爲 ス コ ト 取 扱 之
 置 ケ ル 之 件 本 十 四 日 之 先 方 之 發 送 之 事
 然 ル 之 貴 局 第 三 二 四 号 之 接 受 之 件 山 崎
 參 事 及 之 口 頭 之 以 下 申 告 列 之 趣 旨 ヲ

MT 171037 453

然ルニ今申入レシメ置ケリ、先方ヨリノ回答
 公文ハ接受セザルモ電報不レシ
 尚且豆港總領事代理ニ對シ刑權交渉
 期間從テ作業期間モ一ヶ月間申延
 長セシムル旨不取敢電報シ置ケルモ從未
 各地トノ電信ハ故障多クニ件貴方ヨリモ
 爲念電報アリタシ

MT 171037 454

29

門 2
類 5
項 /
號 /

次 大
官 臣
電信課長
亞細亞
歐米亞
通商
條約
人情
會事
文計
和平
對支
文化

10054 (日語)
(82)

Moscow Oct. 14. 25. 7.15. PM.

Rec'd " 16 " 7.00 AM.

Gaimudaijin,
Tokio.

No 439 (+R 日語)

Moscow, 14. Oct., 1925.

Monsieur le membre du College,
under authorisation from my
Government, I have the honor to
address the present note to you
in order to place on record, the
understanding already arranged with
you, to the following effect;

that the term of five months
appearing in the protocol B and

綴込名	件名
子	
子	
子	
子	
子	

MT 171037

455

exchanged Notes attached to the Convention
embodying Basic Rules of the Relation
between Japan and the Union of Soviet
Socialist Republics, shall be extended
for a period of one and a half months.

I have the honor to request that
you will acknowledge the receipt of
this note, informing me that the
understanding recorded in it is accepted
by your Government.

Accept, Monsieur le membre du
College, the renewed assurances of my
highest consideration.

Monsieur L. M. Karakhan,
Membre du College au
Commissariat du peuple
pour les Affaires Etrangeres.

Tanaka

MT 171037

456

1-1967

03:16

斯カラ各代表及顧問五隨員ハ七月中旬相前後シテ莫斯科ニ到
 着セリ。ソノ農政府ハ右交渉ニ基テ「ヨツエ」ヲ労働例利権手
 台長ニ任命セル処ハ人
 日双方関係者全卸合合シ打合セラるル結果八月十七ヨリ石油及
 石炭ニ関スル交渉ヲ隔日ニ行フコトニ決シ同日以降石油及石炭共先
 我方契約書大綱ニ付討議ヲ行ハシ合議ヲ重ヌルコト石油例五回石炭
 例四回ニシテ九月一日迄ニ何レモ一者全卸ノ交渉ヲ終リ次ニ労働例ニリ

MT 171037

458

外務省

三十日、石炭例代表者ハ七月^{六日}補^日東^日京^日ヲ出^ルスルノ途トナリシリ
 準備^ハニ多^ク自^ラチ^ノ事^ヲア^リシ^ニ致^ス推^薦者^ハ石^油例^代表^者ハ六月
 キントナリ居^ルニ撤^去ノ豫^定ニ迫^リ五月十日ヨリ完了^シタルモ利権令^ハソノ他^ノ他^ノ職
 軍隊ノ此^ノ權^ハ撤^退完了^シ白^即チ本年五月十五日ヨリ五月^ノ内ニ停^止セラル
 北京^ニ於^テ附^屬議^定書^ノ二^ニ依^リハ北^極大^石油^石炭^利權^契約^ハ日本
 歐米局長
 歐米局長
 官形科及赤石油石炭

MT 171037

457

外務省

提出したる 契約書 (石油契約書 四十七年^六石油契約書 四十七年^六三^三成ル) =
 就キ逐条討議ヲ開始シ 石油ニ付テハ九月十日ヨリ 十月二日迄ニ一巡討議
 ヲ了リ又石炭ニ付テハ九月上旬ヨリ 十月初旬迄ニ一通ク審議シタルモ
 諸種ノ問題ニシテ未ダ解決ニ至ラサルモノアリテ 議定書其ニ規定セルナリ
 十月^四日迄ニハ 利権契約締結ノ 暁ニ至ラスシテ 右利権契約期ヲ延長
 スルノ止ムヲ得 サリシ次第ナリ

外務省

MT 171037

459

1-1967

03:8

5
5
18

機密
14. 10. 16

寫

哈爾濱
哈爾濱第二九五號
大正十四年九月二十九日

在哈爾濱 中村內務事務官

大正十四年拾月廿四日記録係接受

內務省警保局長殿
警視總監殿

北海道大坂兵庫
神奈川愛知山口
福岡福井長崎

各廳府縣長官殿
立田連各內務事務官殿

日露利權交渉之關スル件

目下モス、於テ日露兩國代表間ニ進行中
ノサカシ利權會議ハ既ニ日本側ノ提案
ノ審議ヲ了シ、露國案ニ對スル審議ヲ
開始スルニ至リタルカ露國側ノ態度ハ案外
強硬ニシテ樂觀ヲ許ササルモノアリ、露國
側ノ新提案ハ北京ニ於ケル日露條約ニ
何等言及セザリト云フ重大問題アリ
即チ石油、石炭坑區ノ所有ニ關スル財
產、露國政府ノ所有ニ歸スルト云フ要
求アリ、若シ以テ要求ヲ承認スルコトニナルト
現在北辰會カ油田採掘ノ為メニ施シタル
設備中現存セルモノノニテモ最少限度
見積價格一百万円以上ニ達シ之ヲ無償

MT 171037

461

MT 171037

460

一、露國側、引渡ク困難ナル事情アリ
 其他ノ諸兵、於テ相違甚クシテ圓滿
 進捗セズ日本側代表ハ余ク前途ヲ絶
 望シ石油代表モ石炭代表モ一應引揚ク
 ル覚悟ヲ決メ居リト云フ相互ノ主張ス
 ル要兵在ノ如シ
 二、露國側、條約締結後日本利権
 會社カ露國政府ヨリ譲更クハキ礦
 山坑區ノ發掘物、對シ五〇%迄露國
 於テ之ヲ買上ケル權利ヲ有ストノ規定
 ヲ設クルト云フ要求アリ之ハ前記ノ財
 產帰屬問題ト共ニ北京條約ノ規
 定ナキ事項ナリト云フ

三、利権ノ期間ハ日本側ノ五十年對シ
 露國側ハ四十年ヲ主張ス
 四、オハ油田ノ如ク噴出量ノ多大ナル場所
 於テハ露國側ノ條約ノ規定セル基
 盤目形ヲ大キクセス十五デシヤタイ、
 最低限度、止メントシテ居ル
 五、日本側カ露國ニ提供スヘキ報償ハ條
 約ヨリ炭田五分乃至八分石油五分乃至
 一割五分噴油四割五分迄、シテ其率
 ハ年産額ニ應シ決定セラルル事
 ナリ居ルカ年産額ノ開スル日露
 双方ノ見込高ハ大分差カアル結果
 六、ビビル。トウン。グイグル。クトウイ等

MT

171037

463

MT

171037

462

1-1967

0320

五、

ノ如ク日本側ノ調査ニテハ産額ノ頗ル
少シ慶ニテモ露國側ハ大分高率ノ
報償ヲ主張シテ居ル
露國側ハ企業經營ニ對シ種々ナル
制限例之ヲ營業稅等ヲ附加セン
トシテ居ルカ日本側ハ斯ル制限ハ企
業經營ヲ事實上不可能ナラシム
モノトシテ極力之ヲ反對シテ居ル

了

MT

171037

464

1-1967

032 :

32

次官
大官

電送第 67.99 新
大正14年10月16日 6時分發

電信案

外務省

アド、レシブルラムノ趣旨ト一致セザルニ付、今中ヨリ副官方取計ハレ被
右ニ申氣付ノエト、思考スルニ為急

(原議用紙乙) 園納

MT 171037 466

電信案

外務省

主 任 米 局 長
主 任 米 局 第一課
起草大正
年月日

件名
田中大臣

綴 込 名
文殊一校

暗 第三〇號

考案 第四三九号ニ関シ
期日 一ヶ月半 築基シタルニ差
立ナキモ 公文冒頭 Under authority
action from my governmentノ文言ニ

(原議用紙甲) 園納

MT 171037 465

1-1967

0322

10049
晴 50
本 着 着
莫斯科 卷
大正十四年
十月廿六日
官 留 七 八
十 百 六 十 一

部 外 務 大 臣
田 中 大 使

第四三八部
第四三二部 関

井 根

本 件 取 扱 の 形 式 は 貴 局 第 三 一 八 部
の 旨 利 の 基 中 十 三 日 カ ラ ハ ン ト ノ 合 見 の 際
に 別 号 第 四 三 九 号 ノ 通 上 為 ス コ ト 取 計 せ
置 ケ ル 事 本 十 四 日 之 ヲ 先 方 へ 送 達 せ ざ ざ
然 ル ニ 貴 局 第 三 二 四 号 へ 接 セ ル 事 山 崎
参 事 友 人 様 へ 口 頭 以 上 の 旨 利 ノ 趣 旨

然 ル 事 申 入 レ シ ヲ 遣 ケ リ 先 方 コ リ 回 答
公 文 へ 接 受 次 第 電 報 等 一 一
尚 且 通 港 領 事 代 理 へ 對 し 利 権 交 渉
期 間 從 事 作 業 期 間 一 月 間 事 進
長 七 日 以 上 旨 不 取 扱 電 報 遣 ケ ル 事 已 定 事
合 地 上 ノ 電 信 へ 故 障 多 々 二 件 貴 方 コ リ 乞
為 人 念 電 報 遣 ケ リ

MT 171037 468

MT 171037 467

1-1967

0323

10049 晴 曼斯神教 本者着 高橋七六 十言前六一〇

静原外務大臣 田中大使

第四三八號 類名第三二三號、関レ

本件取極ノ形式ハ、曼原第三一八號ノ
ハ、別名第四三九号ノ通ト為スコトニ取付
置ケルニ付、本十四日之ヲ先方ニ發送シタリ
然ルニ、曼原第三二四号ニ接セルニ、伴山崎
参事友リテ、口頭ヲ以テ、ハ、別名ニ趣旨ヲ

然ルニ、本件入レシメ置ケリ、先方ヨリノ回答
公文ハ、極受次、曼原電報スニ、
尚在亞港總領事代理ニ對シ、利権交渉
期間從テ、作業期間モ、一ヶ月間、延
長セラレタル旨、不取敢電報ニ、置ケルモ、從末
各地トノ電信ハ、故障多ク、ニ付、貴方ヨリモ
為念電報アリシ

MT 171037 470

MT 171037 469

1-1967

0324

exchanged Notes attached to the Convention embodying Basic Rules of the Relation between Japan and the Union of Soviet Socialist Republics, shall be extended for a period of one and a half months.

I have the honor to request that you will acknowledge the receipt of this note, informing me that the understanding recorded in it is accepted by your Government.

Accept, Monsieur le membre du Collège, the renewed assurances of my highest consideration.

Monsieur L. M. Karakhan,
Membre du Collège au
Commissariat du peuple
pour les Affaires Etrangères.

Tanaka

MT

171037

472

10054 (日語)

(82)

Moscow Oct. 14. 25. 7.15. PM.

Rec'd " 16 " 7.00 AM.

Grimudaigin,
Tokio.

No 439 (+ 12 日語)

Moscow, 14. Oct., 1925.

Monsieur le membre du Collège,
under authorisation from my
Government, I have the honor to
address the present note to you
in order to place on record the
understanding already arranged with
you to the following effect;

That the term of five months
appearing in the protocol B and

モリス
交
所

MT

171037

471

1-1967

0325

門類
項
號

對支文化 平和條約 文書 會計 人情事報 條約 通商 歐米 亞細亞

大臣
次官
書

電信課長



10/42

暗46

本署署長

大正十四年十月

十七日午後二時
十時前(一〇一)

件名
綴込名
世に事令し
御取計

幣外務大臣

田中大使

大正十四年拾月廿四日記録簿

第四四二號(十〇日付)

貴電第三四〇號ニ関し

御來示ノ字句ハ其有無ニ依リ趣旨ニ

差異ヲ生ズベシトハ思考セラレガレモ本使

トシテハ九月三十日發往電第四一三號ニ

對スル貴電第三一八號ノ御電訓以來

政府ヨリノ回訓ニ基キモトシテ交渉シ

又「アド・レ・エレンダム」ニ付テハ既ニ往電第

四三八號ノ通先方ニ説明済ナルニ付今
更談字句ノ削除ヲ申出ガレコトハ理由
モ立タズ且立場上困難ナルノミナラズ假
ニ申テ申出ハトキハ今後先方ヨリ如何
ナル問題ヲ提起スルヤ又計ラレズ孰テハ
本件善後策ハ貴方ニ於テ御取計
アリタシ

MT

171037

474

MT

171037

473

1-1967

0326

10/42 暗 莫斯科 大止 十月 十七日 午後二時
本者 有 十月 前 一〇一〇

幣外務大臣 田中大使

✓ 貴電第四三號(十月十日付)

御來示ノ字句ハ其有無ニ依リ趣旨ニ
差異ヲ生ズベントハ思考セラレザルモ本使
トシテハ九月三十日發後電第四一三號ニ
對スル貴電第三一八號御電訓以來
政府ヨリノ回訓ニ基キモノトシテ交渉シ
又「アドレフエレンカ」ニ付テハ既ニ往電第

四三八號ノ通先方ニ説明済ナルニ付今
更該字句ノ削除ヲ申出ザルコトハ理由
モ立タズ且立場上困難ナルノミナラス假
ニ立ヲ申出ハトキハ今後先方ヨリ如何
ナル向題ヲ提起スルヤ又計ラレズ就テハ
本件善後策ハ貴方ニ於テ御取計
アリタシ

MT

171037

476

MT

171037

475

1-1967

0327

五

10/42

暗牒 莫斯科發
本省署

大正十四年十月

十月前(一〇一)

幣外務大臣

田中大使

そら

中四回ニ歸(十右白送)

貴電第三四の歸ニ関シ

御來示ノ字句ハ其有無ニ依リ趣旨ニ

差異ヲ生ズベシトハ思考スレモ本使

トシテハ九月三十日發任電第四一三號ニ

對スル貴電第三一八號御電訓以來

政府ヨリノ回訓ニ基リモノトシテ交渉シ

又「アドレフエレン」ニ付テハ既ニ後電第

四三八號ノ通先方ニ説明済ナルニ付今
更ニ諒字句ノ削除ヲ申出スルコトハ理由
モ立タズ且立場上困難ナルノミナラズ假
ニ申ヲ申出サントキハ今後先方ヨリ如何
ナル問題ヲ提起スルヤ又計ラレズ孰テハ
本件善後策ハ貴方ニ於テ御取計
アリタシ

MT 171037

478

MT 171037

477

1-1967

0328

電信課長

大臣

次官

信

亞細亞 歐米 通商 條約 人情 會計 文書 和平條約 對支文化

門類
項號

件名	綴込名
モリス科長	モリス科長

10149 晴 842 本有者 十七日 十六日 前一二二〇

滞在外事務長 田中大使

第四三號 (十七日收)
往電第四三八號、関之是方、田答公文ハ之ヲ
お方ノ分ト一致セシム處字句ヲ修訂セシメ通
達セシガ其ノ全文在ノ通

Moscow, the 14th October, 1925.
Monsieur L'ambassadeur,

While acknowledging the receipt of
your Excellency's note dated 14th inst, regarding

MT 171037

479

信
内
文
書

the understanding already arranged between
us to the effect that the term of five months
appearing in the Protocol B and exchanged
Notes attached to the Convention embodying
Basic Rules of the relations between the Union
of Soviet Socialist Republics and Japan,
shall be extended for a period of one
and a half months.
I have the honor to inform your
Excellency on behalf of my Government that
the said understanding is accepted.

Receipt, Monsieur L'ambassadeur, the

MT 171037

480

show signs of my highest consideration.

J. Franklin.

American Indian Service,

Washington, D. C.

MT

171037

481

1-1967

0330

10/11/9

10/11/9

10/11/9

10/11/9

10/11/9

10/11/9

10/11/9

10/11/9

10/11/9

10/11/9

10/11/9

10/11/9

10/11/9

10/11/9

10/11/9

第四三號 (十七日收)
德電第四三八號一國之是方一田答公文ニ之
書面方ノ分ト一致セシニ高字向ク修訂セシメ通
達セシガ其ノ全文左ノ通

Moscow, the 14th October, 1925.

Monsieur L'ambassadeur,

While acknowledging the receipt of
your Excellency's note dated 14th inst. regarding

MT 171037

482

the understanding already arranged between
us to the effect that the term of five months
appearing in the Protocol is and exchanged
notes attached to the Convention embodying
Basic Rules of the relations between the Union
of Soviet Socialist Republics and Japan,
shall be extended for a period of one
and a half months.

I have the honour to inform your
Excellency on behalf of my Government that
the said understanding is accepted.
Accept, Monsieur L'ambassadeur, the

MT

171037

483

1-1967

0331

expressions of my highest consideration.

H. Karakum.

Monsieur Sakichi Tanaka,

Embassadeur Extraordinaire et Ministre de l'Industrie.

MT 171037

484 1913

1-1967

0332

(已號用紙)

別紙甲號

田中大使ヨリ「カラハン」宛公文譯

以書翰啓上致候陳者本使ハ本國政府ノ授權ニ基キ既ニ閣下トノ間ニ
遂ケテレタル^カノ趣旨ノ³⁰解ヲ記録ニ^残進サンカ爲本書ヲ閣下ニ送附
スルノ光榮ヲ有ス^解

日本國及「ソビエト」社會主義共和國聯邦間ノ關係ヲ律スル基本
的法则ニ關スル條約附屬ノ議定書(乙)及交換公文³⁰中³⁰記載^カ

五個月ノ期間ハ一箇月半延長セラルヘシ

本使ハ閣下ニ於テ本書ノ受領ヲ確認セラレ同時ニ本書記載³⁰ノ³⁰解カ
貴國政府ニ依リ承認セラレタルコトヲ本使ニ通報セラレンコトヲ要
望スルノ光榮ヲ有ス

外務省

MT 171037 486

(已號用紙)

右申進旁々本使ハ茲ニ重ネテ閣下ニ向ツテ敬意ヲ表シ候 敬具

一九二五年十月十四日莫斯科ニ於テ

田中 都吉

外務人民委員部參與會員

エル、エム、カラハン閣下

外務省

MT 171037 487

1-1967

0334

別紙乙號

「カラハン」ヨリ田中大使宛公文譯

以書翰啓上致候陳者本官ハ既ニ閣下ト本官トノ間ニ遂ケヨレタル左
ノ趣旨ノ³解ニ關スル本月十四日附貴翰ノ受領ヲ確認シ同時ニ前記
³解カ承認セラレタルコトヲ本國政府³代リ閣下ニ通報スルノ光榮
ヲ有シ候³

「ソビエト」社會主義共和國聯邦及日本國間ノ關係ヲ律スル基本
的法则ニ關スル條約附屬ノ議定書（乙）及交換公文中所載ノ五個
月ノ期間ハ一箇月半延長セララルヘシ
右申進旁々本官ハ茲ニ重³トテ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候 敬具
一九二五年十月十四日莫斯科ニ於テ

(已號用紙)

外務省

MT 171037 488

日本國特命全權大使田中都吉閣下

エル、カラハン

(已號用紙)

外務省

MT 171037 489

1-1967

0336

exchanged Notes attached to the Convention embodying Basic Rules of the Relation between Japan and the Union of Soviet Socialist Republics, shall be extended for a period of one and a half months.

I have the honor to request that you will acknowledge the receipt of this note, informing me that the understanding recorded in it is accepted by your Government.

Accept, Monsieur le membre du Collège, the renewed assurances of my highest consideration.

Monsieur S. M. Karakhan,
Membre du Collège au
Commissariat du Peuple
pour les Affaires Etrangères.

(Signed) T. Tanaka

甲
乙
丙
丁
戊
己
庚
辛
壬
癸

~~79054 (略)~~
~~(82)~~

~~Moscow Oct. 14. 25. 7.15. PM.~~

~~Rec'd " 16 " 7.00 AM.~~

~~Gaimudaijin,
Tokio.~~

~~No 439 (+ 12 日付)~~

Moscow, 4. Oct., 1925.

Monsieur le membre du Collège,
under authorisation from my
Government, I have the honor to
address the present note to you
in order to place on record the
understanding already arranged with
you to the following effect;

That the term of five months
appearing in the protocol B and

MF

1-1967

0337

政一

0149
1949年
モスクワ
赤省着
モスクワ
十七日
十八日
前一二二〇

駐外務大臣

田中大使

第四三號 (十七日)
往電第四三八號、閣下先方、田中公文二之ノ
書方、分、一、致、七、二、三、高、字、向、修、五、七、二、
延、也、カ、其、一、官、文、花、入、通、

Moscow, the 14th October, 1925.

Monsieur L'attaché,

While acknowledging the receipt of your Excellency's note dated 14th inst. regarding

the understanding already arranged between us to the effect that the term of five months appearing in the Protocol is not exchanged notes attached to the Convention embodying Basic Rules of the relations between the Union of Soviet Socialist Republics and Japan, shall be extended for a period of one and a half months.

I have the honor to inform your Excellency on behalf of my Government that the said understanding is accepted.

Receipt, Monsieur L'attaché, the

1-1967

0338

resources of my highest consideration.

(Signed) S. Karakam.

Monsieur Sakichi Tanaka,

Kanbara-ken & Yamaguchi-ken, Japan.

1-1967

0339

37
35
36
7

條約局長(長岡)

大石
大石

歐米局長

加藤内閣總理大臣

幣原大臣

利權契約締結期限延長ニ關シ御裁可奏請ノ件

北樺太石油石炭利權契約ハ本東條約附屬議定書(乙)ノ規定ニ依リ
日本軍隊ノ北樺太撤退完了ノ日(即本年五月十五日)ヨリ五ヶ月以内ニ
締結セラルヘキコトナリ居ル處撤兵ハ五月十日(即)日ヲ以テ完
了シタルモ利權會社ノ組織準備ニ多數ノ日子ヲ要シ右關係代表者ノ
出發遲延シタルト勞農側ノ事故ノ爲交渉開始遲延スルニ至リ漸ク八
月十四日ニ至リ莫斯科ニ於テ第一回打合會合ヲ催フシ

再後
石池、石炭、石油

外務省

MT 171037 490

(已號用紙)

十餘回ニ亙リ交渉ヲ重ネ最後迄(折)タルモ議定書ニ豫定セラ
レタル期日即十月十四日迄ニ契約締結ノ進ニ至ラザリシ次第ナルカ
一方右豫定期日前ニ期間延長ノ提議ヲ爲スニ於テハ一層交渉ノ進捗
ヲ阻害スル(ノ)ニヨリ之ヲ差シ控ヘ(事)契約締結ニ努メシメ
タルモ前記ノ如ク(豫定期日)ニ交渉成立(ト)ス從テ右期間ヲ
延長スルノ已ムヲ得サルニ至リ本月十四日在露田中大使ト「ソヴ
エト」聯邦外務人民委員部「カラハン」トノ間ニ利權契約締結交渉
期間ヲ一月半間延長方ニ關シ別紙甲號及乙號ノ通り公文ヲ交換シタ
ル次第ニ有之候尙日露條約附屬議定書カ該條約ノ批准ト共ニ批准セ
ラレタルモノト看做サルル關係上本件取極モ上奏御裁可ヲ經ル必要
コトニ同大使及「カラハン」間ニ了解(ト)アル次第ニ有之就

外務省

MT 171037 491

1-1967

0340

テハ右御裁可方奏請相成様致度別紙甲號及乙號相添へ此段稟請候也

(已號用紙)

- 別紙
- 1. 甲号 (改文)
 - 2. 乙号 (改文)
 - 3. 丙号 (改文)
 - 4. 丁号 (改文)

外務省

MT 171037

492

1-1967

034:

上 奏 案

日露條約關係議定書(乙)及交換公文所載ノ利權契約締結交渉期間延長
取極方ノ件御裁可被爲在候様仕度此段謹テ奏ス

大正十四年十月三十日

外務大臣男爵 幣原喜重郎

淨書
陸原

(包號用紙)

外 務 省

MT

171037

493

1-1967

0342

65

大川

守りる

二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、

(乙) 號用紙 (圓納)

日露基本条約(要像)譯定書(乙)及交換公文(丙)裁
 利权契約締結交渉(丙)延長ニ要シテ二十四年
 十月十四日「モスコ」ニ於テ帝國政府ノ兼込ニ条件
 下ニ「ソウイェト」聯邦駐劄田中大使ト「ソウイェト」
 聯邦駐劄田中大使ト「ソウイェト」
 邦外務人民安欠部「カラン」氏ト「ソウイェト」
 邦外務人民安欠部「カラン」氏ト「ソウイェト」

外務省

MT

171037

494

(乙) 號用紙 (圓納)

公文ヲ交換シタルニ付、所載ノ利権契約締結交渉期間延
 ソウイェト「聯邦政府」對シテ書面ヲ以テ長教爲テ通告
 セムトス
 帝國政府ハ口露基本条約(丙)譯定書(乙)及
 交換公文(丙)ノ利権契約締結交渉期間延
 長ニ要シテ二十四年十月十四日「モスコ」ニ於テ
 ソウイェト「聯邦政府」對シテ書面ヲ以テ長教爲テ通告
 セムトス

外務省

MT

171037

495

1-1967

0343

外務省																				
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

外務省
 支那人民委員会
 からの
 文書の
 送付
 について
 承認
 する

(乙 號用紙) 園納

MT 171037 496

1-1967

0344

(E) 號用紙

日露基本條約關係議定書(乙)及交換公文所載ノ利權契約締結交渉期間
延長ニ關シ帝國政府ノ承認ヲ條件トスル口約ノ下ニ大正十四年十月
十四日「モスコ」ニ於テ「ソヴイェト」聯邦駐割田中大使ト「ソ
ヴイェト」聯邦外務人民委員部「カラハン」氏トノ間ニ別添ノ通り
公文交換シタルニ付御裁可ヲ經テ止ル田中大使ヨリ「ソヴイェト」
聯邦政府ニ對シ書面ヲ以テ左ノ趣旨ヲ通告セムトス
帝國政府ハ日露基本條約關係議定書(乙)及交換公文所載ノ利權契約
締結交渉期間延長ニ關シ千九百二十五年十月十四日「モスコ」

外務省

MT 171037 497

(E) 號用紙

ニ於テ「ソヴイェト」聯邦駐割田中大使ト「ソヴイェト」聯邦外
務人民委員部「カラハン」氏トノ間ニ交換シタル公文ニ依ル取極
ヲ承認ス

外務省

MT 171037 498

1-1967

0345

761部
印

往翰

以書翰啓上致候陳者本使ハ既ニ閣下トノ間ニ遂ケラレタル左ノ了解ヲ記録ニ殘サムカ爲本國政府ノ授權ニ基キ本書ヲ閣下ニ送付スルノ光榮ヲ有シ候

日本國及「ソヴ イ エト」社會主義共和國聯邦間ノ關係ヲ律スル基
本的法則ニ關スル條約附屬ノ議定書（乙）及交換公文所載ノ五月
ノ期間ハ一月半延長セラルヘシ

本使ハ閣下ニ於テ本書ノ受領ヲ確認セラルルト共ニ本書記載ノ了解
カ貴國政府ニ依リ受諾セラレタルコトヲ本使ニ通報セラレムコトヲ
要望スルノ光榮ヲ有シ候

(已 號用紙)

外務省

MT 171037 499

本使ハ茲ニ重テ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候 敬具
千九百二十五年十月十四日莫斯科ニ於テ

田 中 都 吉

外務人民委員部參與
エル、エム、カラハン閣下

(已 號用紙)

外務省

MT 171037 500

1-1967

0346

來翰

以書翰啓上致候陳者本官ハ既ニ閣下ト本官トノ間ニ遂ケラレタル
「ソヴ イ エト」社會主義共和國聯邦及日本國間ノ關係ヲ律スル基
本的法則ニ關スル條約附屬ノ議定書（乙）及交換公文所載ノ五月
ノ期間ハ一月半延長セラルヘシ
トノ了解ニ關スル本月十四日附貴翰ノ受領ヲ確認スルト共ニ前記了
解力受諾セラレタルコトヲ本國政府ノ名ニ於テ閣下ニ通報スルノ光
榮ヲ有シ候
本官ハ茲ニ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候 敬具
千九百二十五年十月十四日莫斯科ニ於テ

（已號用紙）

外務省

MT 171037

500-1

特命全權大使田中都吉閣下

エル、カラハン

（已號用紙）

外務省

MT 171037

501

1-1967

0347

來 翰

以書翰啓上致候陳者本官ハ既ニ閣下ト本官トノ間ニ遂ケラレタル
「ソヴィエト」社會主義共和國聯邦及日本國間ノ關係ヲ律スル基
本的法則ニ關スル條約附屬ノ議定書（乙）及交換公文所載ノ五月
ノ期間ハ一月半延長セララルヘシ
トノ了解ニ關スル本月十四日附貴翰ノ受領ヲ確認スルト共ニ前記了
解カ受諾セラレタルコトヲ本國政府ノ名ニ於テ閣下ニ通報スルノ光
榮ヲ有シ候
本官ハ茲ニ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候

千九百二十五年十月十四日「モスコ」ニ於テ

（已 號 用 紙）

外 務 省

MT 171037 502

特命全權大使 田中都吉 閣下

エル、カラハン

（已 號 用 紙）

外 務 省

MT 171037 503

1-1967

0348

往 翰

以書翰啓上致候陳者本使ハ既ニ閣下トノ間ニ遂ケラレタル左ノ了解
ヲ記録ニ殘サムカ爲本國政府ノ授權ニ基キ本書ヲ閣下ニ送付スルノ
光榮ヲ有シ候

日本國及「ソヴィエト」社會主義共和國聯邦間ノ關係ヲ律スル基
本的法則ニ關スル條約附屬ノ議定書（乙）及交換公文所載ノ五月
ノ期間ハ一月半延長セララルヘシ
本使ハ閣下ニ於テ本書ノ受領ヲ確認セラルルト共ニ本書記載ノ了解
カ貴國政府ニ依リ受諾セラレタルコトヲ本使ニ通報セラレムコトヲ
要望スルノ光榮ヲ有シ候

（已 號 用 紙）

外 務 省

MT 171037 504

（已 號 用 紙）

本使ハ茲ニ重テ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候 敬具
千九百二十五年十月十四日「モスコ」ニ於テ

田中都吉

外務人民委員部參與
エル、エム、カラハン 閣下

外 務 省

MT 171037 505

1-1967

0349

別紙乙號

Moscow, the 14th October, 1925.

Monsieur l'Ambassadeur,

While acknowledging the receipt of Your Excellency's note dated 14th inst., regarding the understanding already arranged between us to the effect that the term of five months appearing in the Protocol B and exchanged Notes attached to the Convention embodying Basic Rules of the relations between the Union of Soviet Socialist Republics and Japan, shall be extended for a period of one and a half months,

I have the honour to inform your Excellency on behalf of my Government that the said understanding is accepted.

Accept, Monsieur l'Ambassadeur, the assurances of my highest consideration.

(Signed) L. Karakhan.

Monsieur Tokichi Tanaka,

Ambassadeur Extraordinaire et Plenipotentiaire.

MT 171037

506

1-1967

0350

別紙甲號



Moscow, 14, Oct., 1925.

Monsieur le Membre du Collège,

Under authorisation from my Government, I have the honor to address the present note to you in order to place on record, the understanding already arranged with you to the following effect;

That the term of five months appearing in the protocol B and exchanged Note attached to the Convention embodying Basic Rules of the Relations between Japan and the Union of Soviet Socialist Republics shall be extended for a period of one and a half months.

I have the honor to request that you will acknowledge the receipt of this note, informing me that the understanding recorded in it, is accepted by your Government.

Accept, Monsieur le Membre du Collège, the renewed assurances of my highest consideration.

(Signed) T. Tanaka.

Monsieur L.M.Karakhan,

Membre du Collège au Commissariat

du Peuple pour les Affaires Etrangères.

MT 171037

507

1-1967

035:

秘

長岡

35

referend

左

(乙) 號用紙 (圓納)

⑧ 以下は口頭にて述べた通りであるが、
今後如何なる文書に於ては、
附記の事項を以てし、
定例のサストメスに於ては、
日露基本条約関係諸定書(乙)及交換公文の裁利権

契約交渉期を延長し、田中大使トカハシトノ間、

帝政府の善徳ヲ修得トスル旨の交換公文

文中の「アト、レ」云々の語句ヲ記セサリ、
文中の「アト、レ」云々の語句ヲ記セサリ、

席に於テハ特例トシテ之ヲ先例ト爲サシムルヲ謀ル

大正十四年十月三十一日、
二上把学院長記者会、
二上把学院長記者会、
二上把学院長記者会、

MTI 171037

508

1-1967

0352

38

規

大正十四年十月三十日午後十時十五分ニ上樞密院書記官長不在ニ付村上書記官ニ本件ハ常例ニ非サルヲ電話ニテ通知スルト同時ニ會議等ニテ *ad referendum* ナルコトヲ口頭ニテ述フルコト屢々アリ今回ノハ會議録ナキ爲文書ニ殘ラサリシニ過キスト附言シ置ケリ

先例ニ爲サストノ點ハ言明ヲ避ケ置ケリ (長岡)

外務省

MT

171037

509

1-1967

0353

大正十四年十月二十九日午後五時三十分迄
本館にて開行す
同日午後六時三十分迄
本館にて開行す
同日午後七時三十分迄
本館にて開行す
同日午後八時三十分迄
本館にて開行す

日露基本條約關係議定書（乙）及交換公文所載利權契約交渉期間延
長ニ關シ田中大使ト「カラハント」トノ間ニ交換シタル公文中ニ「ア
ド、レフ、エ、レンダム」ノ趣旨ヲ記載セサリシコトハ政府ニ於テハ特
例ト認メ之ヲ先例ト爲ササル意嚮ナリ

外務省

MT 171037

510

1-1967

0354

39

電送第 7167 號
大正14年11月5日 午後2時10分發

大臣 官房

電信課長 藤井

主任 第一課 起草 大正十四年十一月 日

件北極不利権交渉關係

主莫利科

田 中大使

發 幣原古亞

名込 綴

暗 三三五號

(一) 利権交渉期間延長ニ関シテ取極メ文書ヲ以テ

本場合ニハ議定書(四)ガ批准キテ取極メテ看做スル事

係ト正式ノ取極前 所裁可ノ要ナルニ依リ

トテシテ取極方 曩ニ申進メタル次第ニテ

電信案 外務省

(原議用紙甲) 圖納

MT 171037 511

(原議用紙乙) 圖納

報告ノ如キ経緯ニ依リ成立シタル取極ニ付上奏
 手續ヲ取極リタル処 枢密院側ニテハ本件公文
 交換ニ付 帝内政府ノ承認ヲ得ルニ付
 東支單ニ口頭ニ止メ文書ニ依リテ確定セ
 ザリシハ 妥協ノ標置ト言フベカラシトノ議論アリ
 依而政府ハ 此ノ一可ノ特例ニ違ハザル旨
 明シ猶尚 同院側ノ意向ヲモ奉酌シ左ノ如ク旨

電信案 外務省

MT 171037 512

1-1967

0355

此の如く
三ヶ月前
に
行
は
れ
し
事
を
以
て

ラ書面ニテ勞農政府ニ通告スルコトトシ本件
取極ニ内閣ヲ得タルニ付右極ニ計
ラヒアリタシ

帝國政府ニ日英陸基本条約要像議定書
(乙)及交換公文所載ノ利権契約締結交渉

胡間延長ニ要シ千九百二十五年十月十四日

モスコフニ於テソソエ上駐劄劄田中大使

電信案

外務省

(原議用紙乙) 團納

MT

171037

513

(原議用紙乙) 團納

トソソエ上駐劄劄田中大使

氏トノ間ニ交換シタル公文ニ依ル取極ヲ彙

認ス

(二) 高利權交渉ノ全通ニ要スル者ニ對シテ

協定書ヲ報告書ニシテカカテ貴電第四七七號

所載意見果申ニ格別セカレ處々取極

密院ニ於テ利権契約ニ延長胡間内ニ成

電信案

外務省

MT

171037

514

1-1967

0356

電信案

外務省

進捗方程々盡力セラレタシ

(原議用紙乙) 圖納

MT

171037

516

電信案

外務省

立スル見込アリヤトノ意向アリ以ニ対シ本方並
ハ大體ニ於テ可能ナリト思考シツツアル旨
答ヘテル次第モアリ萬一々回約定ノ期限迄
ニ契約ノ締結ヲ見ガルニ於テハ各方面ニ相第
ノ不便ヲ醸スベキニ豫想ニ程カラガレ義ナル
ニ付随時経過ヲ報告セラルト共ニ前記事
候旨合ノ之引続キ代表側ヲ督促シ交渉

(原議用紙乙) 圖納

MT

171037

515

1-1967

0357

秘

利権契約締結期間延長ニ關スル公文
交換ノ件審査報告

謹テ今回御諮詢ノ利権契約締結期間延長ニ關
スル公文交換ノ件ヲ審査スルニ曩ニ本院ノ議
ヲ經テ御批准アラセラルタル日本國及ソヴィエ
ト連合主義共和國聯邦間ノ關係ヲ律スル基本
的規則ニ關スル條約ニ附屬セル議定書(乙)ニ於
テ帝國軍隊カ北サガレンヨリ完全ニ撤退シタ
ルヨリ五月内ニ同地方ノ油田及炭田ニ關ス
ル利権契約ヲ締結ムヘキコトヲ記載シ又右條

約程交渉

517

MT 171037

約ニ附屬セル交換公文ニ依リ右期間内ニ行ハ

ルヘキ該利権契約ノ締結ニ至ル迄同地方ニ於
テ現ニ日本人ノ實施セル油田及炭田ノ作業カ
一定ノ條件ノ下ニ繼續セラレヘキ旨ノ取極ヲ
為シタリ爾來帝國當局者ハ右所定ノ期間内ニ
該利権契約ノ締結ヲ完了スルコトニ努力シタ
ルモ其ノ交渉意ノ如ク進行セズ終ニ所定ノ期
間タル本年十月十五日迄ニ協議調ヲノ見込ナ
クニ至リシニ由リ日露兩國當局者ハ臨機ノ處
宣トシテ前記ノ議定書(乙)及交換公文ニ記載シ

518

MT 171037

1-1967

0358

タル五月ノ期間ヲ一月半延長スルノ議ヲ定ム
同月十四日雙方代表者ノ間ニ此ノ旨ヲ記載シ
タル公文ヲ交換シタリ尤モ當時帝國ニ在リテ
ハ此ノ取極ヲ為スニ必要ナル一切ノ手續ヲ履
踐スルノ暇ナカリシガ故ニ帝國代表者ハ本國
政府ノ承認ヲ條件トスル旨ノ口約ノ下ニ右公
文ヲ交換シタルニ由リ茲ニ帝國政府ニ於テ諒
交換公文ニ依ル取極ヲ承認スルノ措置ヲ採ラ
ムトスルモノニシテ是レ即チ今回本院ノ
詢議ニ付セラレタル案件ナリ

MT 171037 519

按スルニ本案ノ利權契約締結期間延長ニ關ス
ル公文交換ニ付我方ハ先ツ帝國政府ノ承認ヲ
條件トスル旨ヲ約シ次ニ其ノ承認ヲ與フルノ
順序ニ依リタルコト蓋シ已ムヲ得サル所ナリ
ト雖諒約束ヲ單ニ口頭ニ止メ何等文書ニ依リ
之ヲ確定セザリシハ妥當ノ措置ト謂フヘカラ
ス之ヲ外務當局ニ質シタルニ當局ニ於テモ右
ハ一時ノ特例ニ過キスシテ固ヨリ之ヲ以テ今
後ノ範ト為スヘキニ非サル旨ヲ辯明シタリ而
シテ本案ノ取極ハ其ノ内容ニ於テハ別ニ支障

MT 171037 520

ノ廉ナキモノナルニ由リ本件ハ此ノ儘之ヲ可
決セラレ然ルヘシト思料ス
右謹テ審査ノ結果ヲ報告ス

大正十四年十月三十日

樞密院書記官長ニ上兵治

樞密院議長男爵穂積陳重殿

MT 171037

521

1-1967

0360

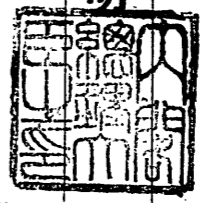


Handwritten notes and stamps at the top right, including the characters '大正' and '外務'.

内閣 外甲第一四〇号

大正十四年十一月四日

内閣總理大臣 子爵 加藤 高明



外務大臣 男爵 幣原 喜重郎 殿

通牒

大正十四年十一月二十三日 政一特密第二二二号

利権契約締結期間延長ニ関スル公文交
換ノ件上奏ノ通裁可ヲ経タリ

内閣

MT 171037

522

1-1967

036 :

門
類
項
號

大臣
次官

電信課長

亞細亞 歐米 通商 條約 人情 報 會計 文書 對支文化

芝

五

11027

暗算科宛

本省有方十四年十一月十日

九日付

改一

件名	
綴込名	

幣外務大臣

田中大使

第四号(九日付)

大正四年三月四日 記録係接受

貴電第三五号前段ノ公文ハ本九日

「カラハン」ニ手交セリ 右郵送ス

MT

171037

523

1-1967

0362

受第 25 番 14.12.9

日聯トエ、ウ 邦 帝 大 使 館

大 正 十 四 年 十 月 十 日

附 屬 書 類 添 附

歐 米 局

左

機 密 第 一 九 號

大 正 十 四 年 十 月 十 日

在 ツ ヴ ァ イ エ ト 聯 邦

特 命 全 權 大 使 田 中 都 青

外 務 大 臣 野 村 浩 三 郎 殿

利 權 交 涉 期 間 延 長 關 係 件

本 件 關 係 十 一 月 九 日 水 使 ヨ リ 外 務 人 民 委 員 代 理 カ ラ ハ シ 氏 ニ 手 交 セ ル 公 文 写 字 茲 ニ 送 附 ス

附 屬 書 類 公 文 写 壹 通

有 附 屬 物

(有 附 屬 物)

田 中 都 青

MT

171037

526

1-1967

0364

522

171037

COPIE

MT

9th November 1925.

Monsieur le Commissaire Adjoint,

I have the honor to inform you, under instructions, that the Japanese Government have formally confirmed the understanding arranged by Notes exchanged between us in Moscow, under date of 14th October 1925, in regard to an extension of term for conclusion of the Concession Contracts, set forth in the Protocol B and Exchanged Notes, attached to the Convention embodying Basic Rules of the Relations between Japan and the Union of Soviet Socialist Republics.

Accept, Monsieur le Commissaire Adjoint, the assurances of my highest consideration.

Monsieur L. Karakhan,
Commissaire Adjoint aux
Affaires Étrangères,

1-1967

3365

依頼電報
拂

門
17
10
號

支
電
報
料
三
菱

電送 521 號
15年1月25日 4時 分發

電信課長

電信案

(原議用紙甲) 團納

主 管 歐米局長

主 任 歐米局第課

超 大 正十五年

月 廿 二 日

件 (三共文依頼電報)

宛 在 莫 斯 科 中 大 使

第 三 千 二 號

莫 斯 科 三 共 文 秘 書 長 送

名 込 綴

大 正 十 五 年 八 月 七 日 記 録 係 接 受

幣 原 大 臣

三 共 文 ヲ リ 加 藤 一

見 夕 二 十 七 日 帰 朝 義 文 十 二

電 信 案

外 務 省

MT 171037

528

1-1967

0366

第 號 (附屬書類 通)

大正十五年一月二十五日

拜啓在莫斯科加藤五十道ニ別紙ノ通リ架電致度ノ
 ニ付テハ每度申手致サ恐縮田中大使宛公文由發電ノ上
 加藤ニ傳達方可然申取訂被成下度此致及申願小也
 大正十五年一月二十五日
 三菱合資會社 課長
 外務省 申中

MT 171037 529

電 文
 見夕二十七日帰朝差支ナレ
 以上

MT 171037 530

1-1967

0367

門
類
番
號

ム

11



第方十一号
三葉書業課へ。加藤ハ二十八日出発セルが九日哈爾
濱着ノ旨入電アリタリ

漸蒙外務方庄

1358 平 13

莫期料費

大正五年八月十七日

十日台外一〇

大正五年八月 七日記録係接受

田中七便

Handwritten signature and notes

MT 171037

531

1-1967

0368

Handwritten notes and stamps on the right side of the document, including a circular postmark and various illegible characters.

二月十六日
三野多喜子様
電報
イカク包

1358 平 13
郵料
大正十五年八月十日
田中大使

第百十一号
蓋書課へ加添ハ二十八日出発セルが九日迄爾
宛着ノ旨入電アリタリ
大正十五年八月 七日記録係接受

（夫人の既し事重女）
奇由ナリ
ナニ

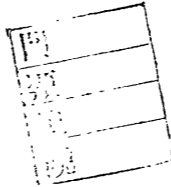
MT 171037

532

1-1967

0369

要再回



文書課長

公文書

大正十五年二月廿一日

109

正校

原稿

小管

町田

通

文書課發送

正十五年二月廿一日發送済

淨書

原稿

正校

原稿

小管

町田

通

主管 歐米局長

主任 歐米課長

大正十五年二月廿一日

附 屬書

通

町田

通

通

受信

人名

海軍省 油谷 海軍省 三井 船山 局長

發信

人名 藤岡 初吉 局長

件名

御参考ノ爲別紙送付ス

綴

本 藤岡 初吉 局長

(大正十五年二月二十日附在東京以館來下往電第七三號寫並附屬書寫)

公文書案

外務省

MT

171037

533

1-1967

0370

平介

百十九

往電第廿九年三月
塚原ハ十九日其利権契約正式調印ヲ了
セルニ付二十日帰朝途ニ就ク古ナリ

1635 晴生 莫斯科着

幣原外務大臣

第七十三号

二月二十六日 晴生

田中大使ヨリ

大正五年八月 七日記録係接受

MT 171037

534

1-1967

037:

機密

1/10

送付

文書課長 文書課 長検印

文書課發送 大正十五年四月廿三日發送済

淨書 (起草大正十五年四月廿二日)

正校(原稿)

(淨書)

號用紙

管主 任主 大正十五年四月廿三日附 附屬書 通

機密第一 號 大正十五年四月廿三日附 附屬書 通

受信 在哈府川角 在運使鈴木 在運使石炭利

發信 大正十五年八月七日記錄係接受 石炭 莫斯科 交貨

御參考 爲別紙送付ス

公 信 案 別紙 坂本 吉沢 文 及 同附尾地圖 並 兩文 奉 約 方 十 字 及 方 十 四 条 一 括 其 他 付 付 了

MT

171037

535

1-1967

0372